

## 教育委員会第 8 回定例会議 会議録

1 日 時 平成 23 年 8 月 17 日 (水)  
 開会 13 時 30 分  
 閉会 14 時 10 分

2 会 場 金沢市本庁舎 4 階 401 会議室

3 出席委員 (5 名)

教育委員長	佐藤 秀紀
教育委員	前川 信政
"	柳下 道子
"	岡 能久
" (教育長)	浅香 久美子

4 欠席委員 (2 名)

教育委員	米井 裕一
"	早川 芳子

事務局	教育次長 (兼) 学校職員課長	上林 雅彦
	学校教育部長	平嶋 正実
	(兼) 市立工業高等学校教育改革推進室長	
	教育総務課長	浦 世史宏
	教育総務課担当課長 (兼) 課長補佐	高村 政博
	教育委員会担当部長 (兼) 学校指導課長	野村 豊
	学校指導課担当課長 (兼) 課長補佐	山田 裕
	教育委員会担当部長 (兼) 市立工業高等学校事務局長	奥村 敏郎
	生涯学習部長 (兼) 生涯学習課長	縄 寛敏
	都市政策局担当部長 (兼) 歴史建造物整備課長	野島 宏英
	文化財保護課長	出越 茂和
	教育委員会担当部長	森田 勝
	(兼) 図書館総務課長	
	(兼) 玉川図書館長	
	泉野図書館副館長	廣田 康太郎
	玉川こども図書館副館長	村田 健
	金沢海みらい図書館長	石蔵 茂幸
	教育プラザ富樫総括施設長	越田 理恵
	(兼) 地域教育センター所長	
	研修相談センター所長	山下 美奈子

5 案 件

議案第 27 号 金沢市指定文化財の指定について (文化財保護課)

議案第 28 号 金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について

(歴史建造物整備課)

非 議案第 29 号 定例第 3 回金沢市議会提出予定案件について

(生涯学習課)

報告第14号 平成24年度新1年生を対象とした中学校学校選択制の実施について  
(教育総務課)

その他

- (1) 平成23年度金沢市管理職教員海外派遣研修「大連市教育研修」の実施について
- (2) 第6回ジュニアかなざわ検定応募状況について
- (3) 第32回金沢少年の翼北海道派遣研修の報告について
- (4) 次回の定例会議の日程について

## 6 議事の経過等 以下のとおり

佐藤委員長の開議あいさつに続いて、議事録署名委員として岡委員を指名した。本日の議題について佐藤委員長が議案第29号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第27号、第28号、報告第14号、その他(1)(2)(3)(4)について資料に基づき説明があり、質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、9月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。その後、議案第29号について非公開で審議に入り、原案のとおり可決し、閉会した。

\* 9月の定例会議の日程：平成23年9月28日(水)13:30~

[ 案件の説明及び諸報告について ]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[ 主な質疑・応答の内容について ]

### 議案第27号 金沢市指定文化財の指定について(文化財保護課)

(説明の概要) 教育委員会より金沢市文化財保護審議会に提出があった2件について、8月5日開催された金沢市文化財指保護審議会にて、指定文化財としてふさわしいとの答申があった。

1 件目の旧多賀家表門・仲間部屋は金沢湯涌の江戸村正面入り口に建つ。もと上胡桃町(現在の兼六元町)にあったが、昭和51年に旧檀風苑に移され、平成22年に再度現在地に移築された。建築年代は江戸時代後期とされている。

多賀家は人持組5000石の上級武士の家柄であった。表門は一間薬医門の形式で、向かって左手に脇門があり、仲間部屋が接している。仲間部屋は表門の正面に向かって左手に屋根を接して建つ木造平屋建て、切妻造、棧瓦葺の建物である。平成22年の移築に際して実施した詳細調査において、檀風苑に建っていた形で移築している。市内に残る武家屋敷の表門としては、国登録有形文化財の旧本多家長屋門、市指定保存建造物の新家邸長屋門、旧高田家長屋門があるが、そのほとんどは長屋門の形式であり、上級武士の類例は少ない。

以上のように、金沢において現存する遺構として極めて貴重であることから、旧多賀家表門・仲間部屋は金沢市の指定文化財建造物として指定するのに十分な価値を有している。

2 件目の大野湊神社の夏季大祭は通称「金石の夏祭り」として親しまれており、神輿行列、曳山や各種の民俗芸能が供奉する、金沢市において最大規模の祭礼である。大野湊神社は現在、本殿中央に護国八幡神、向かって右側に天照大神、左側に猿田彦大神を配置している。神輿の巡幸は、現在8月の第一日曜日を最終日とする3日間に変更されている。

大野湊神社縁起によると、猿田彦大神と天照大神は、真砂山竿の林(現在の金石海岸と言われている)に鎮座していたものを、社殿が炎上したため、建長4年(1252年)に竿の林から東に8丁隔てた離宮八幡宮の社地(現寺中)へ遷したということになっている。当時の金石の氏子の人々は遷座を悲しみ、両神を元の場所である金石の海岸へ戻そうとするが、海岸の浸食や経済的事由などから実現できず、せめて年に一度元の場所へお帰り願おうと、浜に仮殿を建ててお戻しする

ようになった。これが現在の夏季大祭の由来といわれている。

夏季大祭では、天照大神と猿田彦大神の2基の神輿が旧社地である金石へ里帰りするが、八幡神の神輿巡幸がないのは、元来寺中に鎮座していた祭神であるためである。夏季大祭の発祥年代は不詳であるが、寛永10年6月15日付の河崎秀俊記銘の棟札に、60年途絶えていた神輿渡御が、寛永10年になり再興されたことが記されていることから、遅くとも寛永の中ごろまで遡ることができる。また、宝暦4年の行列の進行順が記された史料によると、行列の基本形態が現在まで受け継がれていることが分かる。

神輿の行列に供奉するのが曳山である。17基の曳山と22台の太鼓台が神輿のお供をする。曳山を伴う祭礼は加賀・能登の両地域に分布するが、金沢地区の祭礼としては類を見ない規模の曳山行列である。行列にはこのほか悪魔払、子供奴、獅子舞、米上げ、梯子登り等の民俗芸能が参加して、演舞を奉納する。この行列は金石民俗の集合体とも言える様相を呈し、実に壮大なものとなっている。

このように大野湊神社の夏季大祭は、時の流れとともに変化しつつも、祭神が旧地に帰り、新たな神威をもって巡幸し、氏子町の平安のさまを見届け将来の繁栄を約束するという、縁起さながらの行事の旧態を今に伝えているところに大きな特色がある。大野湊神社の夏季大祭は、金沢の祭礼行事の代表的なものの一つとして重要である。

佐藤委員長

確かこの前審議したとき、大野湊神社の夏季大祭は、無形文化財としては初めての指定であるというお話をお聞きしたように思います。非常に珍しく、大がかりであるように思いますが、金沢市の中心部からは少し離れているので、市の文化財の指定を受けるということで、これまでもある程度は知られていると思いますが、もう少し市として外に対して広報活動をするようなことは考えておられるのでしょうか。せっかく指定するので、活性化につながっていけばいいなと思ってお尋ねします。

出越文化財保護課長

大野湊神社の夏季大祭については、総合的な祭礼という意味では金沢市で初めての無形文化財の指定です。獅子舞や悪魔払というように個別の指定はこれまでもありましたが、祭礼としてトータルで大規模に指定するのは今回が初めてです。

指定を受けたら、市のホームページに内容とともに掲載する予定です。そのように、大野湊神社の夏季大祭が金沢市の無形文化財に指定されたことを、地元の保持団体である奉賛会とも協力しながら、積極的にPRに努めていきます。

佐藤委員長

指定を受けたことで活性化と周知につながっていけばよいと思います。

#### 議案第28号 金沢市卯辰山麓伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について（歴史建造物整備課）

（説明の概要）前回第7回の定例会議において、卯辰山麓伝統的建造物群保存地区の保存計画の変更について、伝統的建造物の追加ということで諮問いただいた。先般、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催し、伝統的建造物として建築物22棟、同じく工作物2件の追加について答申いただいた。

追加の結果、建築物が223棟、工作物として45件、その他環境物件として13件の特定を行うこととなる。参考に別冊で図面をお配りしている。表紙をめくると全体図がある。以下、森山校下、材木校下、馬場校下の拡大図があり、それぞれの物件の位置を載せている。

（特になし）

報告第 14 号 平成 24 年度新 1 年生を対象とした中学校学校選択制の実施について（教育総務課）

（説明の概要）本市の学校選択制は、中学校進学時に通学区域の弾力化の一環として、住所地による通学区域を基本としながら事前に希望を聞く制度として、平成 18 年度から実施してきている。今年度の内容については昨年と同様、住所地の通学区域を基本としながら、区域外の中学校を選択する場合、各中学校とも 40 名を上限として受入を行うものである。また、他の中学校を選択したことによって空きが生じた場合は、当初の受入枠の 40 人に加えて、空き人数分も通学区域外から希望者を受け入れることとする。入学希望者が受入枠を超えた場合には抽選が行われるが、その後、国立、県立、私立中学への入学によって辞退者が出た場合は補欠繰上を行う。

実施のスケジュールについては、10 月中旬までに各小学校で制度説明会等を行い、11 月 8 日までに入学希望申請書の提出をお願いする。通学区域の学校を希望する場合は、そのままその中学校に入学することになり、通学区域外の中学校を希望し、受入枠の 40 人を超えない場合、あるいは希望者数による受入枠の調整措置を行った上で、その範囲内であった場合には、希望どおりの中学校に進学する形になる。調整後、受入枠を超えた場合のみ抽選が行われる。そうした手続きを踏まえて、来年 1 月末日までに入学指定通知書を発送する予定である。なお、議案書 11 ページに、過去の選択制による入学・在籍状況について記載しているので参考にいただきたい。

岡委員	勉学を理由とした場合とスポーツを理由とした場合では、どちらが多いのでしょうか。
浦教育総務課長	選択の理由は特に聞かないことになっているので、具体的にどういう目的があって選んだかということに関して、数字では持っていませんが、この制度を実施した当初、3 年間ほどアンケート調査を実施したことがあります。その中ではクラブ活動を理由として上げている人が 20% 前後いたので、その方々の中にはスポーツを理由に選んでいる場合もあったのではないかと考えています。
佐藤委員長	23 年度の抽選校はどこどこでしたか。
浦教育総務課長	昨年度は紫錦台中学校と高尾台中学校で枠を超えたために抽選が行われました。超えた人数は、紫錦台中学が 1 名、高尾台中学が 2 名でした。
佐藤委員長	これまでも抽選校がありましたが、23 年度に初めて 2 校になっています。過去の抽選校は固定的ですか。
浦教育総務課長	小学校から中学校に進学する際に、二つ以上の中学校に分かれるところについては、どうしても小学校時代の友人と同じ学校に行きたいという希望者が出ることから、多少偏りが出る傾向があります。そういう学校が何校か出てきているという状況です。
前川委員	申請した人数と実際に入学した人の数には差がありますが、それはどうしてでしょうか。
浦教育総務課長	今年 4 月の場合、入学者 3924 人のうち 369 人が希望していましたが、入学時には 326 人になりました。そのほとんどは金沢大学附属中学校や県立の錦丘中学校、私立中学校 2 校に進学することになったために辞退してきたということです。
佐藤委員長	毎回お聞きしているのですが、学校選択制のメリットとしては、生徒にとっては希望する学校を選べるということ、学校にとってはその魅力を高

める一つの動機となること、ということがあるかと思えます。この制度によるメリットに対して、保護者、先生、生徒、学校関係者の中で、何か意見は出ているのでしょうか。また、事務局としてデメリットと現状をどのようにとらえておられるのか、一応確認のためにお聞きしたいと思います。

浦教育総務課長

この制度には、自分で自分が進みたい学校を選んで進学する、学校においても保護者や児童から選択されることにより、特色ある学校づくり等に取り組むといったメリットがあります。

デメリットとしては、施設あつての入学なので、教室の数などからどうしても入学枠を設けざるを得なくなっており、一部では抽選となっている点の一つがあります。また、一つの小学校から二つの中学校に分かれていく中で、ある中学校に偏りが生まれることもデメリットの一つかと思っています。

ただ、当初この制度を導入するに当たって、根強い反対意見としてあつた「学校間で格差ができるのではないか」ということについては、そのようなデータは出てきていないので、そういった点については問題ないと考えています。

また、地域の皆さんが考える校下という意識と、保護者が自分の子どもをどこに通わせたいか、あるいは子どもがどこに通いたいかという意識の差が出ているようです。保護者からは全体として「いい制度である」という意見が多いのに対して、一部の地域からは「地域のエリアを守ってほしい」という意見があるのも事実です。

40人枠というやり方になって、今年で5年目になります。来年の入学者も同じやり方で行いたいと思いますが、これまでの状況を分析し、制度の運用について検討していきたいと考えています。

**その他(1) 平成23年度金沢市管理職教員海外派遣研修「大連市教育研修」の実施について**  
(説明の概要) 小学校中学校の管理職の先生方をアジアの英語の先進地域である中国・大連市に派遣するものである。視察や懇談を通じて、学校の管理者として英語教育への理解を深め、小中一貫の英語教育の一層の推進を図るとともに、学校のあり方や教員の資質向上についても研修を行うことを目的としている。大連市は金沢市の友好交流都市でもあり、これまで7回派遣してきたが、昨年度から研修の名称及び内容をリニューアルし、金沢市の管理職教員の海外派遣研修として、新しい視点で実施している。

派遣期間は9月19日(月)～23日(金)の4泊5日で、英語等の指導法やカリキュラムの研修、小中一貫教育のあり方、教育環境の視察、学校長や教員との懇談を行う。具体的には小中学校で授業参観、懇談を行うほか、友好交流校や今年2月に教育プラザ富樫と教育交流を結んだ大連教育学院、大連大学の訪問等を予定している。今回派遣する団員は、団長の金沢市立緑小学校・直江義弘校長を含め、校長2名、教頭2名、事務局2名の計6名である。

前川委員

ずっと大連のようですが、違うところへの派遣は考えられないのでしょうか。大連だけがわれわれが模範とすべきところとは限らないし、これまでも実際に行ったことによる実績があつて、それを加味していろいろ工夫されてきているのだらうと思います。その評価は当然必要ですが、あらためてほかのやり方、ほかの国についても一度見てみる必要があるのではないのでしょうか。大連ばかりでは偏りすぎて、マンネリ化しているような気がしないでもないのですが、いかがでしょうか。

今年度はこういう形になるでしょうが、昨年もそういうお話をさせていただきました。やはりその辺は検討しておく必要があると思います。行っている人は毎年違うでしょうし、帰ってきたら当然情報を共有したり、あるいはその情報を基にいろいろ工夫されているのでしょうか、いつまで続けるのか、あるいは今後どうするのか、もう少し具体的な将来像を含めて

やっていたきたいと思います。

野村学校指導課長

今年度、この事業を計画するに当たって、やはり大連以外に訪問先を増やしてはどうかというご意見もいただきましたが、予算の関係や、行くのが先生方であることから、あまり長い期間学校を空けられないということで、今年度は大連にさせていただきました。

大連に向かう目的としては、これまではどちらかというと英語教育に特化していましたが、昨年度からは学校経営のあり方や先生方の研修のあり方等も研修の目的に付加しています。

ただ今委員からご意見をいただいたので、来年度は訪問先を含めて検討していきたいと思います。

浅香委員(教育長)

昨年度、大連教育学院と教育プラザが友好協定を結んだこともあって、大連市で研修等を行いたいということになりました。もう1カ所増やせないかということで検討しましたが、日程や予算の関係で難しいということで、大連市だけになりました。来年度以降はその辺を検討していきたいと思っています。

佐藤委員長

前川委員からもあったように、昨年度も同じような意見が出たかと思えます。もちろん今までの実績を踏まえる必要もあるでしょうが、一度見直してみて、どういう問題点があって、どういうメリットがあるのかということを出していただいて、その上で次のステップを歩まれた方がいいように思いますので、よろしくをお願いします。

### その他(2) 第6回ジュニア金沢検定応募状況について

(説明の概要)7月29日現在、小学生、中学生、保護者を含め、計3,282名の応募があった。昨年と比較すると138名少ない状況にあるが、昨年団体受験をした学校が、たまたま校舎の工事のために参加を見送ったことが影響しているのではないかと考えている。検定日は8月24日(水)の午前中、結果の発表は9月下旬を考えている。

(特になし)

### その他(3) 第32回金沢少年の翼鹿兒島派遣研修の報告について

(説明の概要)7月22日~27日までの5泊6日の日程で、北海道にて研修を行ってきた。団員60名、指導員・リーダー12名の計72名の参加で、ラフティング体験、旭川市連合子ども会との交流会、十勝岳登山、札幌市内自主研修などの日程を終え、所期の目的を果たして全員無事に金沢に帰ってきた。参加した子どもたちの声を聞くと、「友達と協力することの大切さ」「自然の美しさや厳しさが分かった」「自分にとってとても意味のある研修だった」など、参加してよかったという声が多かったと聞いている。

今回は初めてのお子さんもたくさんいらっしゃるということで、顔と名前を知るという意味から、本研修の前には1泊2日の事前研修を行った。好天に恵まれ、予定されていたプログラムは順調に実施できた。期間が短い中、タイトな予定をきちんとなしていくためには、一人一人自分で考えて行動することが求められたが、そのことに子どもたちが気付いてくれる研修だった。

さまざまなプログラムの内容については、地元の方々など、多くの方々の手によって初めて成り立っていることも逐次子どもたちに伝えていたので、研修が終わるころには分かってくれたのではないかと思う。そういうことを気付かせるのが、われわれの役割だったように思う。

このような研修を継続させていただければありがたいとあらためて思うが、全員無事に帰ってきたことを重ねてご報告する。

佐藤委員長

研修先は毎年違うのですか。過去にはどんなところに行っておられるのでしょうか。

縄生涯学習課長

北海道と鹿児島へ1年ずつ交互に行っており、来年は鹿児島の予定です。

以 上

## 会 議 録 署 名

教育委員長 \_\_\_\_\_ 署 名

教育委員 \_\_\_\_\_ 署 名

(岡委員)

[ 非公開議案の審議結果について ]

**議案第 29 号 定例第 3 回金沢市議会提出予定案件について（生涯学習課）**

審議結果についても、非公開

以 上